

(電子メール施行)
農 技 第 1457号
平成30年12月20日

関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

平成30年度病虫害発生予報第7号を發表します。

平成30年度病虫害発生予報 第7号

向こう3か月の病虫害発生予想

作物名	病虫害名	発生予想	発生現況
春キャベツ	黒腐病	平年並	やや少
	菌核病	平年並	平年並
タマネギ	白色疫病	平年並	やや少
	細菌性病害	やや多	平年並
	べと病	やや多	やや多
	ネギアザミウマ	平年並	平年並
春レタス	灰色かび病	平年並	やや少
	菌核病	平年並	やや少
	腐敗病	やや少	少
	ビッグベイン病	平年並	平年並
イチゴ	アブラムシ類	平年並	やや少
	ハダニ類	やや多	やや多

* 気象の概況

近畿地方 3か月予報 (12月から2月までの天候見通し)

平成30年11月21日
大阪管区气象台 発表

<予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

この期間の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、近畿日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。近畿日本海側の降雪量は、少ない確率50%です。

12月 近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、平年並または高い確率ともに40%です。

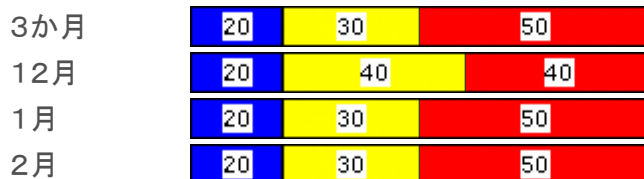
1月 近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、高い確率50%です。降水量は、近畿日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。

2月 近畿日本海側では、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。近畿太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。気温は、高い確率50%です。降水量は、近畿日本海側で平年並または少ない確率ともに40%です。

<向こう3か月の気温、降水量、降雪量の各階級の確率(%)>

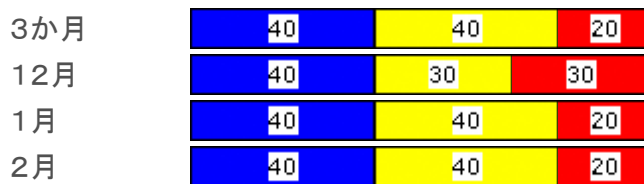
【気 温】

[近畿地方]

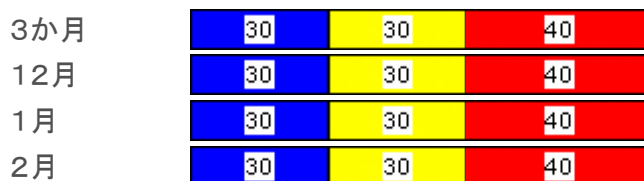


【降 水 量】

[近畿日本海側]



[近畿太平洋側]



【降 雪 量】

[近畿日本海側]

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)



* 発生概況及び防除対策上の留意点

春キャベツ

1【黒腐病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 11月下旬の巡回調査及び現地調査では発病は認められていないが、12月上旬の現地調査では発病株率4%(前年値4%)と平年並の発生であった。

イ 今後3か月の気象予報によると気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想されている。このため、3月以降の気温の上昇とともに感染が助長され、平年並に発生すると考えられる。

2【菌核病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 11月下旬の巡回調査では発生ほ場率8.3%(平年値7.5%)と平年並の発生であった。

イ 今後3か月気象予報によると気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想されており、本病は平年並の発生で推移すると考えられる。

タマネギ

1【白色疫病】

- (1) 予報の内容 発生量：平年並
(2) 予報の根拠

ア 11月下旬の現地調査では発生ほ場率15%(平年値 0%)と発生が認められているが、予察ほ場及び巡回調査では発病は認められなかった。

イ 今後3か月の気象予報によると気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想されている。本病は降雨が多いと感染が助長され、平年並に発生すると考えられる。

2【細菌性病害】

- (1) 予報の内容 発生量：やや多
(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の予察ほ場及び巡回調査では発病は認められていないが、現地調査では発病株率0.5%(前年値0.5%)と平年並の発生であった。

イ 今後3か月の気象予報によると気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想されている。本病は降雨が多いと感染が助長され、ここ数年多発傾向が続いているため、3月以降の気温の上昇とともに発生はやや多くなると予想される。

(3) 防除上の留意点

ア 主に腐敗病と軟腐病が発生し、立毛中のみでなく収穫後の貯蔵中にも発生するので、体系的に薬剤防除を行い、健苗育成に努める。

イ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム)等を参考にし、農薬使用基準を守ること。病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム) (<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

3 【べと病】

(1) 予報の内容

発生量：やや多

(2) 予報の根拠

ア 11月下旬の巡回調査(苗床)では発生は認めなかったが、12月上旬の調査(本圃)では全身感染株の初発生を確認した。これは、例年より早い発生であった。

イ 今後3か月の気象予報によると気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想されていることから、平年より早く全身感染株の発生が増加すると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア 苗床での発生を認めたら、直ちに抜き取り、薬剤防除を必ず行う。

イ 定植後は全身感染株の発生に注意し、確認したら直ちに抜き取り、ほ場外に持ち出して適正に処分し、伝染源を断つ。

ウ 本田定植後も定期的に観察するとともに、定植後20～30日頃の薬剤散布を必ず行う。

エ タマネギべと病の防除の徹底については、平成30年度病害虫発生予察防除情報第4号(平成30年12月19日付け)を参考にされたい(HPに掲載)

オ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム)等を参考にし、農薬使用基準を守ること。病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム) (<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>)

4 【ネギアザミウマ】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の現地調査では発生は認められていないが、予察ほ場では9頭/25株(平年値13頭)と平年並の発生であった。

イ 今後3か月の気象予報によると気温は平年並～高いと予想されており、本種の越冬に好適な条件になり、発生は現状で推移すると考えられる。

春レタス

1 【灰色かび病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 11月下旬の現地調査では発病は認められなかったが、巡回調査ではわずかに発生が認められている。

イ 今後3か月の気象予報によると気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想されている。今後は現地においてトンネル被覆が行われるため、トンネル内では多湿となり発生はやや増加し、平年並に発生すると考えられる。

2 【菌核病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 11月下旬の巡回調査及び現地調査では発病は認められなかったが、周辺ほ場ではわずかに発生が認められている。

イ 今後3か月の気象予報によると気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想されている。今後は現地においてトンネル被覆が行われるため、トンネル

内では多湿となり発生はやや増加し、平年並に発生すると考えられる。

3 【腐敗病】

(1) 予報の内容

発生量：やや少

(2) 予報の根拠

ア 11月下旬の巡回調査及び現地調査では発病は認められなかった。

イ 今後3か月の気象予報によると気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想されている。本病は降雨により発病が助長され、今後はやや少なくて発生すると考えられる。

4 【ビッグベイン病】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 11月下旬の巡回調査では発生ほ場率は33.3%（平年値17.1%）、現地調査では発生ほ場率18.8%（平年値18.8%）と平年並の発生であった。

イ 今後3か月の気象予報によると気温は平年並～高く、降水量は平年並～多いと予想されており、今後も平年並の発生で推移すると考えられる。

イチゴ

1 【アブラムシ類】

(1) 予報の内容

発生量：平年並

(2) 予報の根拠

ア 11月中旬の場内調査では発生は認められていないが、現地調査ではわずかに発生が認められている。

イ 今後3か月の気象予報によると気温は平年並～高いと予想されている。このため、本種の施設内は発生に好適な環境となり、今後増殖が進み平年並の発生になると考えられる。

2 【ハダニ類】

(1) 予報の内容

発生量：やや多

(2) 予報の根拠

ア 12月上旬の場内調査では発生は認められていないが、現地調査では、苗からの持ち込みと思われるハダニ類の発生が継続して見られている。

イ 今後3か月の気象予報によると気温は平年並～高いと予想されている。また施設内では日中は高温・乾燥条件となりやすいので、ハダニ類の侵入のあった施設では増殖が助長されると考えられる。

(3) 防除上の留意点

ア 薬剤散布を行う場合は、薬液が葉の裏に十分かかるように行うこと。

イ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム)等を参考にし、農薬使用基準を守ること。病害虫・雑草防除指導指針(兵庫県農薬情報システム) (<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>)

* この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載

(<http://hyogo-nourinsuisangc.jp/chuo/bojo/index.htm>)